

令和元年度 学校評価[児童・保護者]アンケート結果について(報告)

寒冷の候、保護者の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、2学期末のご多用の折に学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。その結果がまとまりましたので、下記のとおりご報告いたします。同様の内容につきまして、児童のアンケート結果についても、併せてご覧いただきたく、お知らせいたします。皆様からいただきました貴重なご意見を生かし、児童の様子をもとに、指導・改善してまいります。

つきましては、保護者の皆様には、今後も本校の教育活動の充実のために、ご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、自由記述についてのまとめも後日お知らせいたしますので、併せてご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。

記

★…昨年度と質問内容の変更をした項目
太字の文言が変更箇所

選択 4:そう思う 3:やや思う 2:あまり思わない 1: 思わない

数字は割合…%
平均値の最高は4

項目	番号	対象	質問内容	4	3	2	1	平均値	昨年度との比較
学校生活	1	児童★	学校のスローガン「 元気・やる気・笑顔 」に向かって、できることを行っている。	56	37	4	2	3.47	-0.11
		保護者★	学校のスローガン「 元気・やる気・笑顔 」を意識して生活している。	26	50	23	0	3.02	0.18
	2	児童	学校生活を楽しく送っている。	79	17	3	1	3.72	0.05
		保護者	お子様は、安心して楽しく学校へ通っている。	62	37	1	0	3.63	0.09
	3	児童	困ったときは先生に相談している。	51	23	16	11	3.11	-0.19
		保護者	困ったときは、学校に相談している。	34	45	20	1	3.18	0.12
	4	児童★	地域の行事や 親子活動等 に進んで参加している。	46	37	14	3	3.23	-0.11
		保護者	地域の行事やPTA活動に積極的に参加している。	39	48	11	2	3.21	-0.08
	5	児童	学校での様子を家でよく話している。	54	27	13	6	3.28	-0.04
		保護者	ホームページや各種たより等で、学校の様子や取組を理解している。	28	61	9	1	3.21	0.05
考察	<p>1の、学校のスローガン“元気・やる気・笑顔”については、少しずつ保護者にも浸透してきました。スローガンに向かって「できること」を具体的に例示するなど、イメージしやすいようにしながら、さらに啓発していきます。</p> <p>2で、児童・保護者ともに、ほとんどが肯定的に「学校が楽しい」と回答しています。しかし、少数ですが、児童・保護者で否定的な回答をしているところに注目し、学校として今後さらに、一人一人の所属意識の実態を踏まえ、居がいのある学級経営(学校経営)をしていく手立てを検討していきます。</p> <p>3で、保護者は昨年度よりも上昇しましたが、児童は平均値が下がりました。どの児童・保護者からも“信頼される”学校を目指し、教育相談の期間の設定を継続するとともに、いつでも相談しやすい雰囲気作りを努めて、さらに相談体制を充実させていきます。</p> <p>4は、児童・保護者ともに下降しました。地域の行事・PTA活動への関心を高めていけるよう、さらに啓発していきます。</p> <p>5は、児童・保護者ともに、昨年度同様の結果でした。学年だよりや学校だより等への掲載の仕方を工夫したり、ホームページを各担当者が更新する意識を高めたりしてきましたが、今後さらに“開かれた学校”を目指して情報を積極的に発信し、児童が家庭で学校の話をするような仕掛けを工夫していきたいと思えます。</p>								
項目	番号		質問内容	4	3	2	1	平均値	昨年度との比較
豊かな心	6	児童	友達やもの、自分を大切にできている。	77	18	4	1	3.71	0.01
		保護者	お子様は、思いやりの心が育っている。	35	60	5	0	3.34	-0.01
	7	児童	夢や目標をもって、努力している。	63	28	6	3	3.55	-0.16
		保護者	お子様は、夢や目標をもって、前向きに生活している。	25	59	15	1	3.13	-0.09
	8	児童	学校や学級のきまりを守っている。	65	32	2	1	3.66	-0.03
		保護者	お子様は、学校や学級のきまりを守って行動している。	36	55	9	0	3.37	0.05
	9	児童	自分から進んで先生や友達、地域の人にあいさつをしている。	63	31	4	2	3.56	-0.07
		保護者	お子様は、進んで家族や地域の人にあいさつをしている。	31	51	16	2	3.19	-0.09
	10	児童★	いろいろな物・こと・人に触れる活動が行えている。	57	34	7	2	3.41	-0.12
		保護者★	お子様は、 学校で様々な体験活動ができている。	55	39	6	0	3.55	0.60
考察	<p>6・8は、児童・保護者は、ほぼ昨年度と同様の結果で「思いやりの心が育っている」「きまりを守っている」と回答しています。さらに道徳の授業づくりを充実させ、児童の規範意識を高め、生活習慣の徹底を図っていくよう、手立てを工夫していきます。</p> <p>7については、児童・保護者ともに数値の下降が見られます。学校で行っている様々な体験活動が、日常の児童の言動等につながっていくよう、さらに指導をしていきます。</p> <p>10で、質問内容の変更がありましたが、児童は下降し、保護者の肯定的な回答が増えました。今後も、異年齢活動や地域学習などを行い、児童の豊かな体験活動を進めていきます。</p> <p>9の「あいさつ」については、数値の変化は少ないのですが、改善を要する課題であるにとらえています。児童の登下校時や来校者への「あいさつ」とともに、名前を呼ばれたときに一人でもはっきり「返事」をすることができるよう、児童会活動を生かしながら、指導の仕方を工夫していきます。</p>								

～裏面もご覧ください～

項目	番号	対象	質問内容	4	3	2	1	平均値	昨年度との比較	
健やかな体と安全	11	児童	体育や休み時間には、元気に体を動かしている。	88	8	2	2	3.65	-0.14	
		保護者	お子様は、進んで体力づくりをしている。	33	46	18	3	3.07	-0.04	
	12	児童	手洗い・歯磨きを進んで行っている。	63	31	5	1	3.66	-0.03	
		保護者	お子様は、手洗い・歯磨きをきちんと行っている。	44	42	13	1	3.27	0.02	
	13	児童	安全に気をつけて登下校している。	83	16	1	1	3.83	0.06	
		保護者	お子様は、安全に気を付けて登下校している。	52	41	7	0	3.50	0.11	
	14	児童	火事や地震、不審者にあったときどうすればよいか知っている。	84	14	1	1	3.82	-0.05	
		保護者	家庭で、災害時の対応について相談できている。	23	50	22	4	2.91	0.10	
	15	児童	給食を、好き嫌いせずに残さず食べている。	59	29	11	1	3.55	-0.03	
		保護者	お子様は、毎日朝ご飯を食べている。	83	13	4	0	3.78	-0.10	
	考察	<p>11・12・15について、児童・保護者とも、ほぼ昨年度同様です。体力づくりについては、肯定的な回答が増えており、2学期の学校行事(運動会・持久走大会)への取組の成果とも言えると思います。また、学校として「全日本学校歯科保健優良校表彰」で奨励賞をいただくなど、学校歯科医である早乙女歯科医院の皆様のご指導と、ご家庭での日々の努力のおかげだと考えています。さらに、学校で行っている様々な食に関する指導が、児童の生活につながるようになっていきます。今後も、進んで体力づくり・外遊びに加え、徒歩による通学を奨励しながら、健康・体力づくりへの関心をさらに高めていけるよう、日常的に指導していきます。</p> <p>13は、児童・保護者のほとんどが、肯定的な回答をし、良好ですが、まだまだ危険な場面や指導を要するところがあります。「見守りボランティア」の方々のご協力も得ながら、継続指導していきます。</p> <p>14については、保護者の数値が昨年度よりも上昇していますが、平均値は低い状況です。学校で行っている様々な学習や訓練についてお知らせするとともに、家庭での対応につなげていただけるよう、さらに啓発の仕方を工夫していきます。</p>								
	項目	番号	対象	質問内容	4	3	2	1	平均値	昨年度との比較
確かな学力	16	児童	授業は分かりやすい。	59	28	10	2	3.56	0.03	
		保護者	お子様は、学習内容を理解している。	23	59	17	1	3.10	-0.08	
	17	児童	授業中、自分の考えを発表したり、友だちの意見を聞いたりしている。	56	40	3	1	3.46	-0.13	
		保護者★	お子様は、進んで 自分の考えを表現している 。	19	54	26	1	2.98	-0.11	
	18	児童★	宿題や自主学習に 進んで 取り組んでいる。	53	30	16	2	3.43	0.03	
		保護者	お子様は、宿題や自主学習に 進んで 取り組んでいる。	26	45	23	5	3.04	0.07	
	19	児童★	異なる考えや意見にも耳を傾け、友達のよさを自分の考えに生かしている 。	64	31	2	3	3.56	0.03	
		保護者★	お子様のよさを見つけて、認め、励ましている 。	41	55	4	0	3.32	0.45	
	20	児童	進んで本を読んだり、読み聞かせを楽しんだりしている。	66	18	13	3	3.45	-0.10	
		保護者★	お子様は、進んで読書をしたたり、 読み聞かせを楽しんだり している。	34	32	29	5	2.93	0.09	
	考察	<p>質問内容の変更をした項目が多いので、単純比較はできませんが、全般的に、児童の肯定的な回答が高いのに対して、保護者のそれはある程度にとどまっているという傾向が見られます。</p> <p>学校として最も重要な「授業」についての質問 16について、栃木市の『とち介の学び』をもとに、授業展開の工夫・授業改善を行ったり、朝の「パワーアップタイム」の取組を導入したりしていますが、ほぼ昨年度同様の結果でした。さらに「児童にとって分かりやすい授業」「学力の向上」を目指し、学校として研究に励み、努力していきたいと考えています。</p> <p>昨年度よりも児童・保護者の数値が下降している項目として、17「自分の考えを表現する」があげられます。これについては、「小中一貫教育」の西方ブロックの重点目標として2年間取り組んできた結果、小集団の中では抵抗なく話せる児童が増えてきました。さらに自信をもって自分の考えを表現していけるよう、指導の手立てを工夫していきます。</p> <p>19の、「自分や友達のよさを生かす」については、保護者の否定的な回答が減り、数値の上昇がありました。それには、特別支援教育・人権教育の成果が見られます。今後さらに、児童一人一人のよさを生かす指導をしていきます。</p> <p>18の、「宿題や自主学習への取組」については、保護者の肯定的な回答が増え、平均値も上がりました。「早く寝Night」へのご理解、児童の家庭での学習習慣についてのご協力のおかげで、自主学習への意欲高揚が見られますが、取り組み方の個人差が大きいことも否めません。今後さらに、個に応じたためあて・内容の充実を図れるよう、指導をしていきます。</p> <p>20については、校内読書週間に、「親子読書」などの取組を行い、少しずつ成果が表れ、保護者の数値の上昇が見られます。しかし、平均値が低いことから、家庭での読書の習慣化に向けて、児童の関心を高めていけるよう、さらに指導を強化していきます。</p> <p>特に 18と20については、学校と家庭との連携が不可欠なので、家庭での声掛けや励まし、時間の確保や生活習慣の見直し等、今後ご理解とご協力をお願いいたします。</p>								